

事業所名	従業員規模	所在地	支援テーマ	支援回数
株式会社vegeta	常時雇用14人 (臨時雇用27名)	広島県庄原市	5Sによる改善活動を通じ、生産環境の整備と人材育成を図る	専門家派遣回数 2回

相談内容・現状課題

■相談内容

相談者は県内最大のキャベツ生産者で、意欲的に経営規模の拡大を行い、大型機械の整備など、先進技術の導入にも積極的である。

経営規模の拡大に伴い、生産環境の整備と人材育成を進める必要があるため、5S活動(整理、整頓、清掃、清潔、躰)を通じて労働生産性と社員の労働意欲向上を図りたいとの相談を受けた。

■現状課題等

・近年の急速な規模拡大の一方で、調製施設は、応急措置的に設置し運用しているため、作業環境・効率ともに悪く、改善が必要。

・急増した若い社員に対し、明確な作業ルールや労働意欲を高める仕組みがなく、人材の定着に不安があるため、これに対する対応が必要。

相談所の支援体勢・伴走支援チームからの改善提案(問題解決方法)

■支援内容

経営コンサルタントを中心に、普及指導員を加えた伴走支援チームを編成し、支援対象の経営者とで協議を行った。

その結果、5S活動を通じて、社員が主体的な改善に取り組むための「研修会」と「実践活動」を実施することとした。

【支援の流れ】

- ① 経営コンサルタントから、5S活動の概要・先進事例を示して今後の計画を経営者と協議。次回、キャベツ調製施設の現場点検・改善実習を実施することとした。
- ② 社員参加の5S研修会を実施。その後、社員ら20名で、キャベツ調製施設を点検し、モノや情報の流れ、安全性・品質・生産性の向上等の観点から意見を出し合い、その場でレイアウトの変更を行った。



調製施設の点検の様子

支援の成果・その後の状況

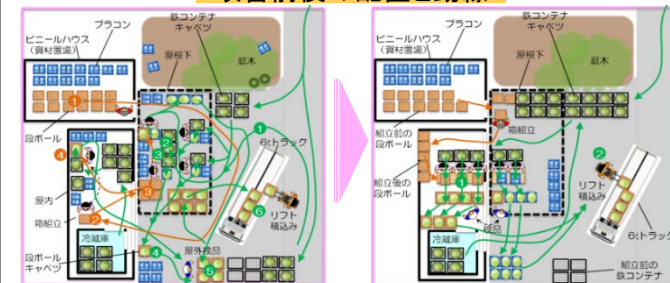
■支援の成果・その後の状況

調製施設のレイアウトを変更した結果、キャベツの処理量が6t/日から10t/日以上に改善した。

また、社員会議を毎週開催し、様々な改善提案に自主的に取り組む動きも生まれている。

今後、社員が複数班に分かれて改善活動を実施し、各班の取組内容を検証する予定。

改善前後の配置と動線



■コーディネーター所感

関係者全員が共に作業現場を点検、研修会で主体的に改善点を協議・整理し、これを実践することで、作業効率の大幅な改善に繋がった。

社員らが主体的に分析・検討・実行・見直しを行う手法で5S活動を中心に進めた本取組は、新たな視点として特筆すべきである。